

ロッキーズ日本語アカデミー 2018年度 シラバス

クラスレベル:のぞみ1組 (緑グループ)

対象年齢:9歳以上

授業時間:3時間(9:00～12:00)

1. 授業内容とねらい

本グループでは、小学五年生の国語教科書を用い、これまで築き上げてきた読み書きの基礎(文章読解力、豊かな語彙、言葉の分析力、文法に対する理解など)を元に、継承語としての日本語で論理的に思考し、判断する力、表現し伝え合う力をさらに高めることを第一の目標とする。

さらに、クラス内での全ての活動を通し、読解したり調べたものを発表する、音読する、レクチャーを聴くといった形で、日本語の「4技能」(聞く・話す・読む・書く)を、バランスよく表出することを意識して授業を行い、またそれぞれにおける言葉の使い方の指導にも重きを置く。

また、限られた学習時間を最大限に活用するため、文法に特化した教材を利用して、上記の思考力・判断力・表現力の表出と車の両輪の関係にある基礎的・基本的な知識・技能、つまり言語についての知識・理解・技能も同時に鍛えていく。

2. 授業計画(重点的に扱う内容)

- 教科書の單元ごとに4技能を満遍なく使用した学習活動
- 既習漢字(小学校1～4年生に学習する範囲)の積極的な活用
- 新出漢字(小学校5年生に学習する範囲)の導入・練習
- 国語教科書の精読及び国語辞典の活用を通した、学習言語の語彙の増強
- 国語教科書を利用した音読と文章読解ワークを活用した日本語での文章読解力の増強
- くもん問題集を通した既知の文法事項の整理及び新出文法事項の定着
- 30秒スピーチを通した即興での作文力、伝える力の増強
- 日本文化・行事・習慣へ慣れ親しみ、またその理解を深める。
- プロジェクト活動を通した日本語能力の総合的な運用

3. 課題・宿題

①物語文の読解及び②動画視聴（語彙・ニュースレポート）を中心に、③授業内に終わらなかった文法問題集、④国語授業の予習復習としての教科書音読を加えた4点を、今年度の宿題とする。年間を通した学習範囲及び宿題の一覧表を配布するので、それを各自で確認したうえで学習・宿題を進めること、及び、保護者の確認作業が求められる。

なお、昨年度からの変更点として、今年度は、原則、毎週の授業で確認作業を行う。ただし、現地校での生徒の多忙さを考慮し、遅れる場合はその旨を担当講師に伝えたい。2ヶ月に一度のロングターム日までに確認を行えばよいものとする。

4. 使用教材

- 光村図書『国語(四)下 はばたき』『国語（五）銀河』
- くもん出版『ことばと文法 集中学習小学5年生』
- 文理 教科書ワーク国語5年光村図書版
- 漢字・漢和辞典
- 国語辞典
- 国際日本語普及協会『かんじだいすき(四)』
- その他自作教材

5. 評価方法

漢字テストなどの点数化できる活動においては点数で、それ以外の活動については、こちらの設定するねらいが達成できているかどうかを判断する。なお、クラスにおける評価はあくまでも、各家庭の取り組みや生徒自身の努力を認めるためのもので、生徒の能力を決めるものではない。

6. 生徒・保護者への指示と伝達

- 各家庭で日本語教育に関する目標や方向性を十二分に話し合い、それを達成するための手立てを考え、担当講師に必要な手助けを求めること。
- 担当講師から保護者への連絡は、メールまたは各生徒のノートを用いる。また授業日に実施した漢字テストや使用したプリントは、各生徒が一度持ち帰り適宜家庭での確認を経たうえで、次週、担任の保有する個人ファイルに綴じて保管することとする。

る。

- 週に1度の週末学校であるので、できる限り欠席しないように心がける。やむをえない場合には、その都度担当講師まで連絡をし、欠席分を取り戻す時間を必ず保護者主導で設けること。また定期的に、もしくは長期的に欠席が予定・予測される場合は、分かる範囲ごとにその予定を一覧にしてのぞみ1組及びディレクターのメールアドレス宛に送るようにする。
- 保護者面談を年度の序盤(9月)と年度の終盤(4月)に実施する。